

熊野町の基本理念

本計画において、熊野町のまちづくりの基本理念を「三世代が住みよい 緑の生活創造都市・熊野町」と設定し、三世代が住み続けたいと感じられる魅力あるまちづくりに取り組んでいくこととします。都市的な生活環境の整備と個性ある伝統文化を生かした取り組みを進めることにより、住民が本町で暮らすことに満足感と愛着をもち、将来に対する希望を実感することができるまちづくりをめざします。

三世代が住みよい 緑の生活創造都市

熊野町



熊野町のめざす将来像

1 便利で快適な都市基盤の整備

幹線道路網の整備による都市軸の構築や交通体系の確立により、都市への利便性を高めるとともに、公園の整備や公共施設のバリアフリー化により誰もが快適に暮らすことのできるまちをめざします。

2 環境と調和した安心できる地域社会の構築

保健・医療・福祉の連携による子育て支援や介護支援の体制づくり、ごみ処理方法をはじめとする環境保全型の暮らしの仕組みづくりにより、三世代が住みやすいまちづくりをめざします。

3 心豊かな人づくりと個性ある文化の継承

図書館の拡充整備など教育文化環境の充実により、学校教育や生涯学習などさまざまな機会を活用した人づくりに取り組むとともに、熊野筆の文化と歴史の保存・活用により、熊野町に暮らす豊かさを実感できるまちをめざします。

4 熊野筆の需要創造と交流産業の開発

筆産地の活性化に向け、情報化による仕組みづくりや体験事業の導入により産業支援機能の強化を図ります。また、交流産業の展開により特産品開発や若者、高齢者等が求める職種の開発に取り組み、活力ある産業を創造するまちをめざします。



※バリアフリー：障害がないこと。特に高齢者、身体障害者の日常生活に妨げとなる障害を取り除くこと。